



2017年11月29日

ネスレ日本株式会社

世界初！？ストレスと苦味をコンセプトにしたカフェ 「ネスレ 癒しの宇治抹茶カフェ」

11月30日(木)～12月10日(日)の期間限定で原宿にオープン
～10段階の苦味レベルから、あなたにオススメの特製抹茶メニューを提供～

ネスレ日本株式会社(本社:兵庫県神戸市、代表取締役 社長 兼 CEO 高岡 浩三、以下「ネスレ」)は、ストレスの度合いにより10段階の苦味レベルからおすすめの特製抹茶メニューを提供する「ネスレ 癒しの宇治抹茶カフェ」を、2017年11月30日(木)から2017年12月10日(日)までの期間限定で「ネスカフェ 原宿」内にオープンします。



「ネスレ 癒しの宇治抹茶カフェ」店内



提供メニュー

ネスレは2017年から、「抹茶」をコーヒー・チョコレートに次ぐ第3の柱として、日本で独自の製品・サービスを展開しており、「抹茶」を日常生活にとり入れることによる健康価値を提案しています。一方、ニューヨークをはじめとする海外でも、抹茶はスーパーフードとして注目され始めており、人気が高まっています。

このように、国内外に広がりつつある抹茶の魅力をさらに引き出すため、ネスレは、多忙によるストレスが気になる年末を控えたタイミングで、苦味をはじめとする「味覚とストレスの関係性」に関する調査を実施しました。その結果、普段から何らかのストレスを抱えている人は96%に達し、**「ストレスが溜まったときに苦い食べ物(飲み物)を求める人は、甘いものや辛いものを求める人よりもストレスレベルが高い傾向にある」**という事実が判明しました(※)。

(※) 日本国内の20～59歳の男女1,030名に対するアンケート調査。調査結果は3ページ目の「参考資料」に記載。

この結果をもとに、ネスレは抹茶の魅力をさらに広げるため、ストレスと苦味をコンセプトにした「ネスレ 癒しの宇治抹茶カフェ」を、期間限定でオープンすることにしました。このカフェでは、お客様が入店後、まずはじめに、「ストレスチェック」を実施していただきます。ストレスの度合いにより「1NIGA」から「10NIGA」まで10段階にレベル分けをし、そのレベルに応じて苦味の異なる特製抹茶スイーツと、「ネスカフェ ドルチェ グスト」で抽出した抹茶メニュー、「キットカット」抹茶製品を提供します。また、店内は抹茶色のグリーンを基調としており、寝そべれるソファ席や抹茶の香りがするクッションなどのリラックスアイテムを多数配置するなど、日頃のストレスを癒せる落ち着いた空間になっています。

また、期間中のキャンペーンとして、「ストレスチェック」で「8NIGA」以上と判定されたお客様全員に、「キットカット ミニ 抹茶 まるごと茶葉 13枚」1袋をお試し品としてご提供。さらに、日頃のリラックスタイムに、ご自宅でも簡単に本格的な抹茶を楽しめる「ネスカフェ ドルチェ グスト」と、専用カプセル「ネスカフェ ドルチェ グスト 濃い抹茶」(1箱 12杯分)のセットが期間中、5名様限定で当たるくじ引きに挑戦できます。



(※写真はイメージです)

「ネスレ 癒しの宇治抹茶カフェ」 概要

- ◆場所 ネスカフェ 原宿 (所在地: 東京都渋谷区神宮前 1-22-8)
- ◆期間 2017年11月30日(木)~2017年12月10日(日) ※12月7日(木)のみ休業
- ◆営業時間 11:00~21:00 (ラストオーダー20:15)

■入店時のストレスチェック

株式会社 DUMSCO が提供するアプリ「ストレススキャン」を使用したストレスチェックを実施していただきます。
ストレスの度合いにより「1 NIGA」から「10 NIGA」まで 10 段階にレベル分けをします。



■提供メニュー

ストレスの度合いにより「1NIGA」から「10NIGA」まで 10 段階にレベル分けをし、そのレベルに応じて苦味の異なる特製抹茶スイーツ「泡抹茶フォンデュ」と、「nescacafe ドルチェ グスト」で抽出した抹茶メニュー、「キットカット」抹茶製品を提供します。

価格: 300 円 (税別)



■抹茶色のグリーンで統一された店内



■ゆっくり寝そべれるソファ席



以上

参考資料

【アンケート調査 概要】

- ・調査方法: インターネットによる SA 形式のアンケート調査
- ・調査対象: 日本国内 | 20~59 歳の男女 | 1,030 名
- ・実施日 : 2017 年 11 月 10 日(金) ~ 2017 年 11 月 12 日(日)

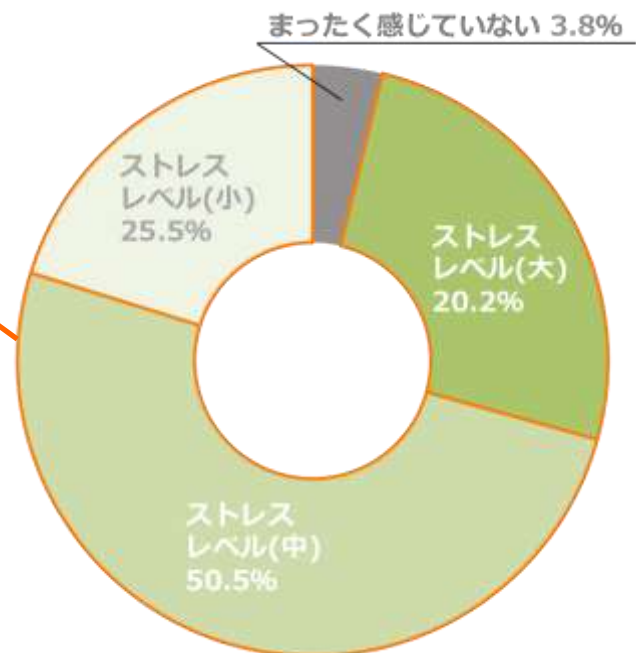
< 調査サマリー >

- 日頃からストレスを感じている人は 96.2%
- ストレスが溜まったときに「苦いもの」を求める人は、「甘いもの」「辛いもの」を求める人よりも、ストレスレベルが高い傾向にある

Q1. あなたは日頃、どのくらいストレスを感じていますか？

普段の生活で、どの程度ストレスを感じているかという問いに対し、「ストレスレベル(大) 20.2%」「ストレスレベル(中) 50.5%」「ストレスレベル(小) 25.5%」という結果となり、合わせて 96.2%の人が何らかのストレスを感じていることが分かった。

ストレスあり 96.2%



ストレスレベル (大)	208 名 (20.2%)
ストレスレベル (中)	520 名 (50.5%)
ストレスレベル (小)	263 名 (25.5%)
まったくストレスを感じていない	39 名 (3.8%)

(n = 1030)

Q2 あなたはストレスが溜まった時に以下のような味の食べ物を食べたい(飲みたい)ですか？

ストレスが溜まった際に、甘いもの／辛いもの／苦いもの、何れを食べたい(飲みたい)かという設問では、「甘いもの」と回答した人が多い中、「苦いもの」を求める人も一定数いることが、調査結果からわかりました。

一方で、それぞれの味ごとに、ストレスレベルを集計すると「苦いもの」を求める人の「ストレスレベル(大)」の割合は、「甘いもの」や「辛いもの」よりも高くなる傾向が読み取れました。

